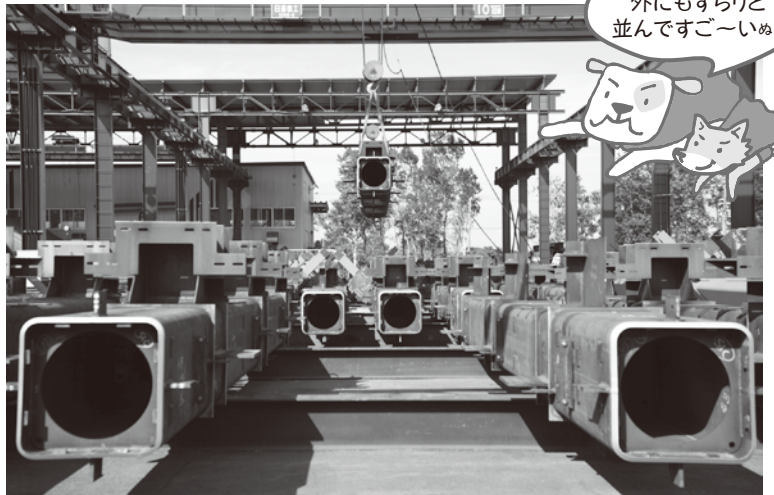




「石狩データセンター」の鉄骨も造ってるワーン！ 外気を取り入れる仕組みの壁は鉄骨も複雑～。



▼組み上がった部品はきちんと図面通りできているかをしっかりチェックします。



巨大鉄骨が外にもずらりと並んですご～いぬ！



▲10mを超す大きな柱など、ここでは多彩な鉄骨が作られていて、建築現場に出荷する順番に並べられています。



▲鋼板やH鋼といった材料に電気溶接などを施し、一つ一つの部品に仕上げていきます。



24時間稼働OKの、働き者ロボットだワーン！



▲工場にはプログラムを入力すると自動で溶接してくれるロボットも(写真左下)。



昭和45年、㈱三美機工として会社設立後、昭和60年には㈱旭製作所、平成19年には旭イノボックス㈱建築鉄構事業部の名称に。石狩工場では、最先端の設備と高い生産能力で大型施設の鉄骨を製作しています。従業員数72人。

大型施設やビルなどに欠かせない鉄骨を製作。

旭イノボックス(株)建築鉄構事業部石狩工場

新港南1丁目28-14 ☎64-2227



私の新港ベスト3！

1. 夕日がきれい
2. 海に近い
3. サケ

日本海に沈む夕日は文句なく最高です。「あそびーち」もいいですね！ 残念ながら今はなかなか行けませんが。

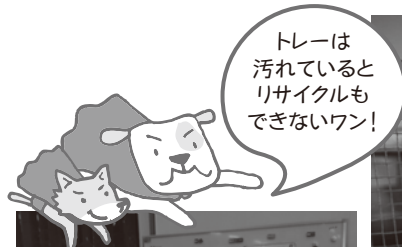
ただけは幸いです(笑)。

というわけで今度、札幌ドームに行かれた際はぜひ天井をご覧下さい。鉄骨が見えるはずで、「塗装に苦労した鉄骨ってあれかあ」と思い出していたら幸いです(笑)。

わが社は、水門や橋を造る「土木鉄構」と、暖房システムを開発する「住環境機器」、鉄骨を造る「建築鉄構」の3事業からなり、当工場は「建築鉄構」の事業部になります。鉄骨は、建物によって求められるものも実にさまざま。そのため、お客様にどんな鉄骨がふさわしいか提案することから始まって、設計・鋼材の調達・施工に至るまでが私たちの仕事です。皆さんご存じの札幌ドームの建設にも携わりました。札幌ドームは、柱を持たない立体トラスという工法で広い天井を実現していて、さらにそれが複雑な楕円形になっていますので、鉄骨も製造・施工するのにとても苦労しました。ですがこのときの経験はその後、帯広のスケートリンク(明治北海道十勝オーバル)や、新千歳空港の国際線ターミナルの工事に生かすことができました。



副工場長
万 弘行さん



▲選別が終わったら圧縮して袋詰め。1週間に1回まとめて工場に運びます。

食品トレーを食品トレーにリサイクルする技術は、エフピコが世界で初めて開発したんだワン!

食品トレー100枚分のペレット



▶写真右は食品トレー100枚分。これを最終的にペレット(プラスチックの原料)にして、再び食品トレーを製造します。



▲道内各地のスーパーなどで回収された使用済み食品トレー。

◀ベルトコンベヤーを流れる食品トレーにラベルやごみが付いていないか、裏返ししながら素早くチェックします。



▲透明容器は、重なっているものをバラしたり、不適品を除去したら、赤外線センサーで素材ごとに自動選別します。



エフピコは広島県に本社を置く、昭和37年創業の簡易食品容器のメーカー。新港には㈱エフピコ北海道工場と㈱エフピコ北海道配送センター、エフピコ愛バック㈱北海道工場があり、平成22年には北海道選別センターが開設されました。選別センターの従業員数は15人。

食品トレーや容器をリサイクル用に選別。

エフピコ愛バック(株)北海道選別センター

新港西1丁目778-9 ☎75-7015



私の新港ベスト3!

1. サケサンバ
2. 自然がいっぱい
3. 吹雪がすごい

“尾びれをふって〜♪”のサケサンバは、うちの子どもも学校で踊っていました。リズムカルでいいですね!

今、食品トレーの場合、1カ月で平均8〜9トンほど(1日400kgほど)回収しています。本州に比べると回収量としてはまだまだ少ないのですが、連休明けなどはやっばり増えますね。1月は正月休みがあるので、きつと10トン以上になるのではないかと予想しています。

エフピコは、就労継続支援A型事業の認定を受けていて、10人の障がいのある方が、自分たちの力を発揮して働いています。

ここでは、スーパーマーケットなどで回収された発泡スチロール製の食品トレーや透明容器を再利用するための選別を行っています。

食品トレーの選別ラインでは、ベルトコンベヤーに流れてくる容器を白い容器と色付きの容器に分けたり、ラベルやごみが付いた不適品を取り除いたりという工程を手作業で実施。透明容器の選別ラインは、赤外線センサーを使って6種類のプラスチックの材質ごとに自動選別しています。どちらも最終的には圧縮して袋詰めし、わが社のリサイクル工場へと送っています。

ここは、エフピコグループが障がい者雇用場として展開する愛バック事業の施設。



北海道選別センター長 石岡 尚之さん